

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員間で話し合いを持ち、独自の理念を作り上げている。	
2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	閉鎖的な施設にならない様に、職員で意思を統一はされている。地域のふれあいを大切にする為、散歩や買い物、地域の行事参加に出掛けるように努めている。	
3	○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	理念は地域の方には運営推進会議や地域の方が施設の行事に参加して下さったり、入居者の皆さんが地域の行事に参加したりと少しずつ溶け込めるよう取り組んでいる。ご家族にはホームの定期の新聞で月の行事の報告を行っている。	○
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	グループホームに対する理解度がまだ広がっていない。大きな行事でお付き合いは出来ているが、なかなか気軽に立ち寄れるまではできていない。	○
5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	行事には少しずつではあるが参加させて頂いている。ただ地域の一員としてのお付き合いまではできていない。	○
			ご家族に送付している新聞を運営推進会議で地域の方に閲覧して頂ける様に話を進めていきたい。
			今後も福祉会の行事の開催やボランティアの参加の呼びかけをさせて頂き、ホームに対する理解を少しでも深めていきたい。
			新聞の配布、ボランティアの御願ひなど運営推進会議を軸に地道に行っていきたい。

岐阜県. グループホーム北山

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	<p>運営推進会議の中で自治会、民生委員の方との話し合いで、何かご協力できることがあれば、少しでも協力していきたい。</p>
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	○	<p>地域への関わりは弱点として捉え、福祉社会全体として少しずつ地域に還元できる努力を進めていく。またその中でグループホームとして何が出来るのか、地域の方のご意見を多く頂ける様に、話し合いの機会を大切にしていく。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	○	<p>入居者の方の個々の作品などを通して、細かな生活の部分を見て頂きたい。また委員さんからホームとして地域に何が出来るか、今後話し合っていきたい。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	○	<p>会議の検討内容として、担当者の方とどういったことができるのか話し合っていきたい。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	<p>学習会を通して制度を理解して、ご家族、施設に来られた方、また近隣の相談などで活用できるようにしていきたい。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	○	<p>職員のメンタル面が崩れないように、些細な会話や会議での話し合いを行い、ストレスを蓄積させないように配慮することで、虐待の意識につながらないように努めている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	○契約に関する説明と納得  契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご家族の思いを十分理解した上で、説明させていただいている。	
13	○運営に関する利用者意見の反映  利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱を設けて、第三者機関の方に相談できるようなシステムを取っている。苦情相談受付、担当者、第三者委員の名前も掲示してある。	
14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	入居者の方の生活を伝える「お便り」や月の請求書発送時、その他の生活情報として新聞、金銭出納帳、利用した領収書を送り、残金の確認をして頂いている。	
15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に国保連、市の介護保険室への連絡要綱の掲示や第三者機関を通じて意見を出せるように、ご意見箱を設置している。	
16	○運営に関する職員意見の反映  運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議で意見を出してもらったり、全体的な部分では労働組合を通して改善を呼びかけたりと、風通しは良くする様に努めている。	○
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整  利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	職員の意見を聞き、出来る限り体制が手厚くなるように努めている。対応として、午後からは職員の3人体制ができる日が増えた。	○
			話し合いを持っても反映できないこともあるので、できる限り対応していきたい。
			職員の確保がまだ完全ではない。増員の話し合いの継続、ボランティアの御願いやご家族、隣のケアハウス、ヘルパーステーションの職員の手も借りていく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職率は低く、馴染みの関係になれるように日々職員が努めている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19 ○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	学習会を2~3ヶ月に1回行っている。ただ外部研修のようなきちんとしたものは出来ていない。	○	常勤者は外部研修に行く機会はあるが、非常勤者は外部研修に参加できていない。情報提供をして、行ける方には参加して質の向上を図る。法人内部でも定期的に研修が設けられているので、個々に参加して頂く。
20 ○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の会議には参加しているが、ネットワーク作りなどの交流はできていない。	○	近隣の施設と情報交換を行い、交流を深めていきたい。行事の交流会など出来たら良い。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	風通しを良くする為、声を掛けたり、会議で話し合いの機会を設けている。ただストレスをきちんと解消できているかは難しい。	○	職員の些細なことにも耳を傾け、不安が少しでも広がらないように努めていきたい。話すことがまず第一である。
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	非常勤の方が主体の施設だが、皆さんが本当に一生懸命仕事をして努力してくださるので感謝している。	○	職員の高齢者に対する思いが、環境やストレスから途絶えないようにきちんと意見を聞いていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	担当者会議やアセスメントを行い、ご本人の情報を把握。基本情報から趣味、好きなこと、職歴、医療に関する事など職員間で共有して同じ対応が出来るように努めている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居に至るまでの過程をきちんと把握して、説明と同意を基に、ご家族の思いを尊重し納得して頂いた上でご利用して頂けるように、電話連絡、面談を行っている。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	求めている支援をご本人、ご家族と話し合い、意見に対して納得をして頂いてから、他のサービス利用などの対応をさせて頂いている。現在医療機関のリハビリに定期で通院されている方もいる。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	不安が一番辛い事なので、事前に話し合いを持ち意見交換をきちんと行っている。お試し入居などで慣れて頂き、納得されて入居されたケースもある。またご家族の力をお借りして、慣れて頂くまでは出来る限りホームに通って頂くようにお話ししている。	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者の方の性格を把握し、普段の思いを受容して常に本音が言える関係作りを目指している。生活は決して強制せず、あるがままを受け止めていけるように職員間で対応している。ご本人の生活習慣を基にその中で声掛け、自発的にホームでの生活役割につなげられるように支援させて頂いている。	

岐阜県. グループホーム北山

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	食事会や行事などご家族に参加して頂き一緒に過ごす時間を設けている。またご家族と個別面談を行って、ケアプランに活かして対応させて頂いている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	今までの生活、関係を認識して、ご本人の思いをご家族に出来る範囲で協力して頂いている。ご家族も最低月に1回は来て下さり、情報提供をさせて頂いている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お墓参りや友人、遠方の身内の訪問などご家族の方の協力で継続している。	○	今後ご家族の関係を配慮して、馴染みの関係が途切れないようにお話していく。
31	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	集団生活でさまざまな性格の方がいるので終始穏やかに生活ができる環境ではない。喧嘩もあつたり、仲良く話されたりしながらその中で皆さんが個々を理解されて生活の雰囲気ができている。ひどい衝突があるときは、職員がきちんと配慮して対応できるように努めている。	○	性格で合う合わないが必ずあるので、声掛けして違う仕事をお願いしたり、話題を変えたり、距離をおいて頂きながら対応を継続していく。
32	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所後の病院、施設への転居時はご家族の不安が一番大きいので、施設の紹介、入居に至るまでお付き合いを大切にしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者の生活背景、性格を把握して支援していくように努めている。現在お一人での散歩、買い物に2人行かれ、皆さんで他施設の喫茶店に月1回出掛けている。困難時はご本人、ご家族に相談させて頂き、出来る限り対応できるように努めている。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人、ご家族、他施設より頂いた情報を基に生活支援を行っている。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	記録(1日の流れ、排泄、食事量、水分量、バイタル)の把握と今まで生活して頂いた中で得た役割を強制せずにやって頂いている。	
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	ご本人、ご家族の意見を踏まえて定期的にカンファレンスを行っている。意見交換を行い、前回の評価を基に介護計画につなげている。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護内容に応じて決めた期間を目安に見直しをしている。緊急時は随時見直すように努めている。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録は、ケアプランに対して実践したことを記入している。その記録の内容で記載が少ないプランに対して、見直ししている。日々の記録で把握が難しい方はセンター方式の1部を利用して記録を行った。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	協力医療機関、介護サービス事業者、地域包括支援センターと連携をとって支援できるように努めている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアの協力はお願いしている。1名の方が不定期で来て下さるようになった。民生委員の方も1名ボランティアとして来て下さっている。消防は定期的にケアハウスと合同で消防訓練を行っている。	○	今後もお願いが出来る場所で、ボランティアの協力をして下さる方を募っていく。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ご本人、ご家族の思いを尊重して、職員間で検討し他の事業者と連絡をとって適切なサービス利用ができるように努めている。		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に来て頂いたり、利用者の相談のために訪問したりと連携を取っている。		



岐阜県. グループホーム北山

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	情報提供をきちんと伝達して、転居後もダメージに対応できることがあれば、助言させて頂く。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	集団生活の中なので集団に染まることが無いよう、個人の尊重、プライバシーには職員間で配慮することを統一して対応している。		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	個々の生活暦を踏まえて、ご自身でできること、できないことを把握して、生活の中で役割を見つけて頂いている。食器洗いや洗濯たたみ、掃除をご自分の仕事としてやったださる方もいる。		
52 ○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	生活していく中でご自身のペースができていますので自発的にやって頂けることを尊重して、その他でお願いしてやって頂けることは声掛けさせて頂いている。決して強制はしない。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	お洒落が好きな方は起床時鏡で全身をチェックして頂いたり、理美容は以前から行かれている所にご家族と一緒にさせて頂いている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	皆さんの嗜好品が全て所々で提供できていないので献立を考えていきたい。
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		その方の状態に合わせて対応するため、個々の排泄パターンを把握する表を基に、トイレ誘導を行っている。
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		入浴は毎日入りたい方が2名おり、毎日入って頂いている。少ない方は週2回入って頂いている。また下肢のむくみがある方は入浴日以外の日は足浴をさせて頂いている。
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		睡眠バランスがうまく取れない方には日中なるべく外へ散歩や家事仕事をお願いしている。元々昼寝をされていた方には、今まで通り適宜休んで頂いている。体調を一番に配慮して休んで頂いている。
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		ご自分の趣味として散歩、庭木の手入れ、買い物に出掛けて気分転換して頂いてる。生活される中でできた家事仕事の役割をこなされたり、声掛けでやって下さる方もいる。やって下さった時にはお礼の言葉を掛けている。

岐阜県. グループホーム北山

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	管理ができる方にはご家族から了解を得て、管理できる範囲内で金銭を持って頂いている。		
61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	お一人で外出できる方が2名おり、近隣、ご家族の了解を得て自由に出掛けて頂いている。その他の方も体調、季節に合わせ日々の散歩と一緒に出掛けたり、行事で外に出掛けたりしている。	○	散歩も個人で行きたい方が増えているので、地域のボランティアの協力をお願いしている。2名の方が来てくださる様になった。今後もお願いして出掛ける機会を増やしていきたい。
62	○普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	月2回程度、車で季節が感じ取れる場所へ車で出掛けている。	○	ご家族の協力を今後も呼びかけていく。また皆さんからも定期的に出掛けたい場所を聞いていく。
63	○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話のやり取りが可能な方は要望があれば自由を使用して頂いている。手紙はなかなか書けていない。	○	年賀、暑中見舞いなど季節にあわせた文章が書けるように、字が書ける方には支援していきたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会の時間は制限せず、いつでも自由に来て頂いている。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	学習会を設けて取り組む予定である。もし必要がある場合は必要のためのアセスメントを行い、それを元にご家族にご説明していく。今後も拘束しないケアができるように職員間で意思統一していく。		

岐阜県. グループホーム北山

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	○	<p>夜間は職員が一人なので、巡視や介助が必要な方がいる中で、安全の優先順位を確認しながら対応していきたい。</p>
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	<p>応急処置などの訓練を学習会として行う必要がある。</p>
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	<p>個々の非難マニュアルを作成してきちんと掲示しておく。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	皆さんの状態を把握した上で、危険性が高いことはお話しして説明と同意を得て、職員間で話し合い対応するように努めている。		
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	職員間で情報を共有して、体調把握に努めている。緊急時の可能性が高い方は何かあった場合すぐ対応できるよう、緊急時のマニュアルを改めて確認して対応するようにしている。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の副作用、内容を職員に伝達している。症状の変化があるときは、近隣の薬剤師へ気軽に相談できる関係作りができています。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	一日の水分量を把握する表にチェックして、水分が取りにくい方にはゼリーの提供で水分を確保して便秘予防をしたり、ヨーグルトをおやつに毎日使用したり、散歩に出掛けて頂いたりしている。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後ではないが、最低1回はご自分でできる方にはやって頂き、介助が必要な方にはできる限り対応している。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	昼食は外注食なので、栄養バランスが取れたものを提供してもらっている。その他はホームで作る。栄養士がいるわけではないのできちんとできていないが、肉、魚、根菜、緑黄色野菜と配慮しながら提供している。栄養不足の方には嗜好品、高カロリー液の捕食、卵入りのおじやを毎食提供している。水分は表を作成して量を確認してい	○	咀嚼力低下、誤嚥する方が増えてきた。個々の対応が難しくなってきているのでトロミや刻み食などきちんと配慮して対応していく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	インフルエンザの予防注射は全員受けている。時期によって流行る感染症は職員間で統一して、予防策を対応している。		
79	○食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	肉、魚を使用するまな板、包丁は、別にして使用し、早めに洗浄している。食器も洗浄後、乾燥機にかけてから片付けている。食材は冷蔵庫のものが無くなり次第買い物に行き、週3回は出掛けている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	地域の方の協力によってできた建物なので、ボランティアの見学など気軽に来て頂いている。建物はケアハウスと併設の建物なので、自然のものを多く取り入れて雰囲気作りをしている。	○	併設の建物のため、ホームがどこにあるか解りにくい構造となっているので、解り易い表示が必要。
81	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日常生活で使用しているものを取り入れている。花を職員、入居の方が持ち込まれ雰囲気作りに努めて下さっている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	死角になる箇所にソファを置いて使用して頂いている。入居者同士の交流は各部屋や畳のスペースを利用して頂いている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	ご自宅で使用していたものをそのまま持ってきて 頂いている。		
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	共有部分には温度、湿度計を設置している。各部 屋も換気や温度調節のため常時換気扇をつけて いる。冷暖房も換気を含めて対応している。臭い が気になる箇所には消臭剤を設置して、定期的 に交換している。		
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	バリアフリーで対応している。必要な箇所には手 すりを設置して、自立した生活がおくれるよ うにしている。		
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	皆さんのできること、できないことを理解して、 決して強制せずにやれることをやって頂いて いる。女性の方が多いので、家事仕事はお願い したり、自発的にやって下さる事が多い。		
87 ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	外周には花、野菜、植木がある。ベンチを設 置して雑談や景色を眺めて頂く場所にもな っている。		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない 皆さんの出来ること出来ないことを把握して、皆さんの思いを実現できるようにやっています。お一人での外出、買い物、庭木の手入れ、家事仕事をやって頂き、習慣になった方もいる。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない 高齢化、重度化の進行もあり、個々の対応に追われる日があるとゆったりできない日もある。曜日を決めてゆったり出来る日を進めている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ご自分のペースで過ごせる方はご自由に生活して頂いている。声掛けが必要な方はご自分のペースを干渉しない程度に声掛けして仕事、レクなどに参加して頂いている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない 皆さんの性格があるので、支援して喜んで何かをされる方、控えめな方を把握して対応している。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ご自分で行かれる方には積極的に出掛けて頂いている。出来ない方は職員と一緒に出来る限り出掛けています。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない 定期的にご家族と受診や出来ない方は往診して協力医療機関と連携が取れている。安全面で危険性が高いときは職員間で協議して、ご家族の意見を確認して対応している。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない 皆さんの思いを汲み取り、出来ることをやっておくことで生活習慣が出来てきているので、その都度の対応で安心して生活できるように支援するよう努めている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない ご家族と連絡をとって面談や面会時のコミュニケーション、定期のお手紙を送付した後に、ご家族の思いをお手紙として返信して頂いている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない 行事として月1回の音楽療法と床屋でケアハウスの入居の方が来られる。最近では地域の方で2名の方がボランティアに来て下さるようになった。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない  地域の行事に参加させて頂いたり、施設の行事に協力して頂いている。民生委員さんもボランティアの募集を委員会で伝えて下さっている。
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない  高齢化、重度化している中でストレスを溜めながらも一生懸命働いて下さっている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない  日によって皆さんに適宜対応できていない日もあるので何とも言えないが、出来ることを出来る限りやって頂き不安が募らないように努めている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない  ホームの行事参加や面会など最低でも職員と月1回はお話しをして、要望などを確認している。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ホームの生活の中で、ご本人の意思を尊重して出来ることをお願いしてさせて頂いたり、一人で出来ることも積極的にさせて頂くことで、ご自分の役割を発見して生活の一部になるように支援させて頂いている。また入居されている方は認知症がある方なので、常に不安の中で生活されている方が多い。話を受容させて頂く中で今後も本音をどんどんぶつけて頂けるような関係作りを目指している。医療機関も近隣にあるので、利用者の方の状態が悪いときでも迅速に対応できる関係作りができています。